

気候変動による大雨の増加が閉鎖性海域の塩分場及び養殖二枚貝に与える影響の定量化

京都大学 農学研究科 応用生物学専攻 南部 正裕

目的 気候変動に伴う大雨の増加が閉鎖性海域の塩分場や海洋生物に与える影響を定量的に解明する。

内容 海洋モデルFVCOMを用いて、入力する降水量や気象条件によって海域の塩分の時空間変動がどのように変化するかシミュレーションを行った。シミュレーション結果から海洋生物への影響を定量化した。

結果 気候変動による大雨の増加が閉鎖性海域の主要水産生物であるマガキに与える影響を定量化することができた。

利用した計算機
ノード時間

SQUID
1300時間

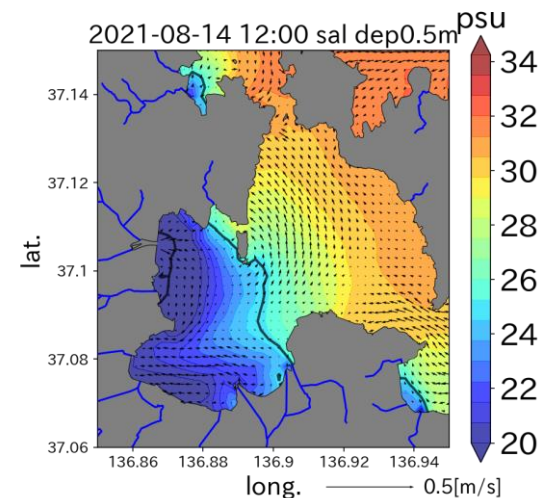


図 塩分のシミュレーション結果